

令和7年度シラバス（ 外国語 ）

教科(科目)	外国語(英語コミュニケーションⅠ)	単位数	3単位	学年	1学年
使用教科書	COMET English Communication I(数研出版)				
副教材等	COMET English Communication I ベーシックノート、COMET 基本文法定着ドリル1、改訂版 COMET 英単語、改訂版 COMET 英単語学習ノート①(数研出版)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育みます。 ①明確な目標を設定し、その達成に向けて継続的に努力できる力を育成します。 ②主体的・意欲的に学びに向かう姿勢と、誠実で礼儀正しい態度を育成します。 ③前向きに自己の向上に努め、思いやりを持って行動できる力を育成します。 ④自ら課題を見つけて解決しようと行動し、社会に貢献する力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います。 ①基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、ICTの活用など工夫をし、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう「分かる」授業の実践・改善に努めます。 ②総合的な探究の時間では、教科等横断的な視点で、地域社会と自己との関わりから課題を発見し、多様な他者と協働して解決しようとする活動に取り組みます。 ③生徒個々の持っている長所・能力を最大限伸ばし、生徒が自らの可能性に挑戦し、進路希望を実現できるようキャリア教育を推進します。 ④社会に貢献する姿勢を身に付けさせるために、新潟県立大学との交流、地域行事への参加、ボランティア活動などへの積極的な参加を促進します。

2 学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3 指導の重点

- ①英和辞典を使いこなせるようにする。また、単語練習等により学習習慣をつけさせ、語彙力を養う。
- ②基本的な文法事項を理解させ、英文を正しく読解したり、正しく書いたりする力をつけさせる。
- ③英語を通して、自国の文化だけでなく他国の文化や考え方を理解する態度を養う。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・定期考査の分析 ・授業の取り組み（音読、暗唱練習など）の観察 ・ベシックノート等の提出物の内容の確認 などから評価します。	・定期考査の分析 ・授業の取り組み（音読、暗唱練習など）の観察 ・ベシックノート等の提出物の内容の確認 などから評価します。	・パフォーマンスタスク ・グループやペアでの話し合い ・提出物などの内容の確認 などから評価します。
	各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と 領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	Introduction	2	Introduction, Get Ready!	動詞、否定文、疑問文	2	定期考査
5	Lesson 1	13	What Did You Do in Japan?	本文の内容を読み、概要や要点を把握する 過去形 思い出に残っている経験を英語で述べる	3 2 1	授業の取組（音読、暗唱練習等） 提出物の内容確認 パフォーマンスタスク、グループ・ペアワーク等
	Lesson 2		When Do You Feel Happy?	本文の内容を読み、概要や要点を把握する 進行形 自分の好きなことについて英語で述べる	3 2 2	
6	Lesson 3	18	Onigiri Goes Overseas	本文の内容を読み、概要や要点を把握する 助動詞 日本の文化を英語で紹介する	4 3 2	定期考査 授業の取組（音読、暗唱練習等）
	Lesson 4		Pictograms	本文の内容を読み、概要や要点を把握する 不定詞 身の回りにあるピクトグラムを英語で紹介する	4 3 2	提出物の内容確認 パフォーマンスタスク、グループ・ペアワーク等
7	Lesson 5	22	Morita Yuko	本文の内容を読み、概要や要点を把握する 動名詞 興味のある職業について英語で述べる	6 3 2	
9	Lesson 6		Convenience Stores	本文の内容を読み、概要や要点を把握する That 節 自分の好きな店やよく行く店を英語で紹介する	6 3 2	
10						
11	Lesson 7	20	High School Aquarium	本文の内容を読み、概要や要点を把握する 現在完了形 自分たちの学校を英語で紹介する	5 3 2	定期考査 授業の取組（音読、暗唱練習等）
12	Lesson 8		Smart Farming	本文の内容を読み、概要や要点を把握する 受け身 生活を快適にするテクノロジーについて英語で述べる	5 3 2	提出物の内容確認 パフォーマンスタスク、グループ・ペアワーク等

1	Lesson 9	30	Food Waste	本文の内容を読み、概要や要点を把握する 比較 食品廃棄を減らす取り組みについて英語で述べる	6 5 2	ワーク等
2		「読むこと」 「聞くこと」 「話すこと」				
3	Lesson 10	「書くこと」	William and His Windmill	本文の内容を読み、概要や要点を把握する 関係代名詞 地域のために自分なら何ができるかを英語で述べる	8 6 3	定期考査 授業の取組（音読、 暗唱練習等） 提出物の内容確認 パフォーマンスタスク、グループ・ペアワーク等

計 105 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・毎時間もしくは単元ごとにベーシックノートの提出があります。
- ・長期休業中は基本文法定着ドリル、英単語学習ノートをやり提出することになります。
- ・その他の課題、提出物等は別途指示します。

8 担当者からの一言

基礎から根気よく学ぶ姿勢と意欲、また課題等を達成しようとする努力と取り組みを年間を通して評価します。